

事例
20

あの企業はこう使っている!

事例に学ぶIT・IoT導入

きみ屋化粧品



お肌に身体に心に寄りそう会社であることをモットーに、植物成分由来のお肌に優しいスキンケアクリームを企画・ECサイトで販売しています。



きみ屋化粧品

kimiya

〒760-0080 香川県高松市木太町2780-1

TEL 087-833-5305

HP <https://kimi-ya-cosme.jp>

なんとなく「便利になりそう」とは思うものの「うちの会社で、どう使ったらいいかイメージが湧かない...」。

そんな皆さま必見のコラムです。

高松のIT・IoT先進企業（リーディングカンパニー）が、IT・IoTをどう活用しているかを毎月連載で紹介いたします。

第20弾は、きみ屋化粧品。代表の時耕 公世さんにお話を伺いました。

アナログな心づかいを大切にするため

クラウド型ITツールで時間を確保

事業開始時に考えたITツールの必要性

2017年からECサイトでスキンケアアクリムの販売事業を始めたきみ屋化粧品。時耕代表自身の肌悩みの経験をもとに「素肌を隠さず、ありのままを見せられるようになってほしい」という思いを込めて作った、こだわりの商品を販売しています。「事業開始にあたり、小規模事業者だからこそできるお客さま対応を大事にしたいと考えていました。しかし、限られた人数の中では、ECサイトの運営や経理業務、顧客管理で手いっぱい。そこで、Webデザインや経理関連など専門知識が必要なものはプロに、データ入力のように自動化できるものはITツールに任せ、私は自分にしかできないことに力を注ごうと考えました」。

手間暇かけず確かな仕事をデジタルで実現

同社が導入したのは、「ECプラットフォーム」と「会計ソフト」の2つのクラウド型ITツールの

これらを互いに連携させ、顧客管理をはじめ経営全般をクラウド上で一括管理しています。日々のECサイトでの売上などが全自動で計上され、経営状況をリアルタイムで確認可能に。バックオフィス業務に手間暇をかけることなく確かな仕事を実現しています。また、クラウド型なので外部提携スタッフとの情報共有も場所を選ばず、正確かつスムーズです。

人にしかできない作業で顧客満足度の向上へ

こうして生まれた時間は、お客さまに寄りそうためのアナログな作業に使っています。「購入回数や総金額などお客さまに合わせたメッセージや贈り物を考えたり、開封しやすい梱包を考えたり、ちよつとしたことかもしれないですが、どれも、お客さまから喜んでいただけています」と時耕代表。ITツール導入は、人にしかできない作業時間を確保し、顧客満足度の向上や他企業との差別化にもつながっています。

図解

クラウド型ITツールで経営全般を一括管理。アナログ作業時間を確保

